

ふりがな

いがしら まさひこ

氏名

井頭 昌彦

1. 学歴

- 1998年3月 東北大学理学部物理学科（生物物理学研究室）卒業
2001年3月 東北大学文学部人文社会学科 卒業
2003年3月 東北大学大学院文学研究科（哲学） 博士課程前期二年の課程 修了
2008年3月 東北大学大学院文学研究科（哲学） 博士課程後期三年の課程 修了

2. 職歴・研究歴

- 2005年4月-2007年3月 日本学術振興会・特別研究員（DC2）
2008年7月-2010年3月 大阪大学大学院生命機能研究科 特任研究員
（文部科学省科学技術振興調整費・先端融合領域イノベーション創出拠点の形成、「生体ゆらぎに学ぶ知的人工物と情報システム」）
2010年4月-2011年3月 大阪大学大学院人間科学研究科 特任助教
（GCOEプログラム「認知脳理解に基づく未来工学創成」）
2011年4月-2014年3月 一橋大学大学院社会学研究科 専任講師
2011年4月- 大阪大学大学院基礎工学研究科・招聘准教授（2018年3月まで）
2014年4月-2018年3月 一橋大学大学院社会学研究科 准教授
2018年4月より 一橋大学大学院社会学研究科 教授

3. 学内教育活動

（A）主な担当講義名

（a）学部学生向け

哲学概論、社会哲学、哲学特論、社会科学概論Ⅱ

（b）大学院

社会哲学、哲学原典講読

（B）ゼミナール

学部後期、大学院

4. 主な研究テーマ

哲学方法論、社会科学の哲学（社会科学方法論）、認識論、形而上学

5. 研究活動

A. 業績

（a）著書・編著

- ・ M. Igashira (translated by Yu Izumi), *The Possibility of Pluralistic Naturalism: Understanding the Continuity Between*

Philosophy and Science, YOUKODOO Co., Ltd, 2016.2.29 (『多元論的自然主義の可能性』の英訳) .

- ・成瀬尚志 編『学生を思考にいざなうレポート課題』(共著), ひつじ書房, 2016.12.7. (分担部分)
- ・中山康雄 編『科学哲学——人文科学ブックガイド基本の30冊——』(共著), 人文書院, 2010.10.20. (分担部分: 「W. V. O. クワイン『論理的観点から』, 84-90) .
- ・井頭昌彦, 『多元論的自然主義の可能性』, 新曜社, 2010.9.15.

(b) 論文

- ・井頭昌彦「哲学的自然主義の内と外」『現代思想 総特集◎分析哲学』 2017年12月号, 青土社, 2017.12.
- ・村田純一、荒畑靖宏、井頭昌彦、植村玄輝、「ワークショップ報告『媒介論的描像を抜け出して多元的実在論へ——ドレイファスとテイラーの現象学』」『現象学年報』第33号
- ・井頭昌彦「物語り論的アプローチによる自由意思擁護論の再検討——諸コンテキストはそもそも／どの程度統合されねばならないのか?——」『一橋社会科学(第7巻別冊: 脱/文脈化を思考する)』, 2015.3.
- ・井頭昌彦「《プラグマティックな自然主義》と3つの課題」『思索(座小田豊先生 御退職記念号)』 通巻47号, pp.221-248, 東北大学哲学研究会, 2014.10.
- ・井頭昌彦「プラグマティズム・体系内在主義・物理主義——植原氏、佐藤氏、成瀬氏への回答——」『MORALIA』 通巻19号, pp.101-125, 東北大学倫理学研究会, 2012.10
- ・井頭昌彦「「心を持ったロボットをつくる」というプロジェクトはどのようなものでありうるか?」『思索(野家啓一先生 御退職記念号)』 第45巻第2号, pp.389-418, 東北大学出版会, 2012.10.
- * 井頭昌彦「スーパーヴィーニエンス・テーゼと存在論的コミットメント——物理主義の存在論的含意の把握に向けて——」『科学哲学』 42-2号, pp.59-73, 2009.
- * 井頭昌彦「分析性は理解不可能な概念なのか?——記述か規範的提案か——」『哲学』 通巻58号, pp.131-145.
- * 井頭昌彦「クワインの物理主義と自然化された認識論」『科学哲学』, 38-2号, pp. 109-122, 2005.
- * 井頭昌彦「クワインの意味批判の行方——〈ことの真相〉とチョムスキ——クワイン論争」『思索』 36号, 67-86, 2003.

(c) 翻訳

- ・井頭昌彦「実験科学における再現と非局所性」(原著: Hans Radder *In and About the World: Philosophical Studies of Science and Technology* (Chapter 2: Reproduction and Nonlocality in Experimental Science), State University of New York, 1996年, 英語), 『MORALIA』 通巻14号, 東北大学倫理学研究会, 2007.10.18.

(d) その他

- ・井頭昌彦「心をもったロボットは作れるか?」『如水会会報』, 一般社団法人如水会, 2017.3.1.
- ・井頭昌彦「哲学者達のプレゼンのなにかが「ダメ」なのか?」(pdf) (日本科学哲学会 ニューズレターNo.50), 2014.

B. 本研究科着任後の研究活動(着任2011年)

(a) 国内外学会発表

- * Masahiko Igashira, “A Mechanism for Persuasively Justifying General Claims in History, and the Challenges Involved.”, The Asian Network for the Philosophy of the Social Sciences (ANPOSS), the European Network for the Philosophy of the Social Sciences (ENPOSS), and the Philosophy of Social Science Roundtable 2021 Joint Conference, 2021.3, Hitotsubashi University.
- * 井頭昌彦「秋山晋吾『姦通裁判』(2018)を社会科学方法論の観点から検討する」, 一橋大学社会学研究科先端

課題研究 19, 2020.12, 一橋大学.

- * 井頭昌彦「DSI に対するリアクションの論点整理」, 一橋大学社会学研究科先端課題研究 19, 2020.7, 一橋大学.
- * 井頭昌彦「社会科学の Research・デザイン」(DSI 概要紹介), 一橋大学社会学研究科先端課題研究 19, 2020.6, 一橋大学.
- * Masahiko Igashira, “Against Metaphysically Realistic Physicalism”, Nature Technology Metaphysics, 2019.6, the International Centre for Philosophy NRW. (招待講演)
- * 井頭昌彦「形而上学的実在論タイプの物理主義を論難する。」, 一橋大学哲学・社会思想学会, 2019.6, 一橋大学
- * 井頭昌彦「「心を持ったロボット」は(どうやれば)つくれるか?」, 一橋フォーラム, 2016.12, 如水会館.
- * 井頭昌彦「外部問題はすでに自然化されている——メタ存在論的デフレ主義と自然主義の関係」, KNS ネットワーク研究会(東北大学大学院文学研究科 哲学・倫理学研究室 主催), 2016.12, 東北大学. (招待講演)
- * 井頭昌彦「多元論的で頑強な実在論には(どの程度)見込みがあるのか?」, 日本現象学会・公募ワークショップ「媒介論的描像を抜け出して多元的実在論へ——ドレイファスとテイラーの現象学」, 2016.11, 高千穂大学.
- * 井頭昌彦「哲学的自然主義は何を排除するのか?」, 日本科学哲学会・ワークショップ「哲学的主義のメタ哲学的評価」, 2016.11, 信州大学.
- * 成瀬尚志, 笠木雅史, 児島功和, 崎山直樹, 高橋亮介, 片山悠樹, 井頭昌彦, 「レポート課題タキノミー——剽窃が困難となる論題分析」, 大学教育学会第 38 回大会, 立命館大学, 2016.6, 立命館大学.
- * 成瀬尚志, 笠木雅史, 児島功和, 崎山直樹, 高橋亮介, 片山悠樹, 井頭昌彦, 「レポート課題において何を問うべきか——レポート論題に関するアンケート調査から——」, 第 22 回大学教育研究フォーラム, 2016.3, 京都大学吉田キャンパス.
- * 井頭昌彦「哲学的ロボティクス」, 物質分子系専攻談話会, 2014.10, 大阪市立大学理学部.
- * 井頭昌彦「Pragmatic Naturalism/Sydney Plan とその課題」, 一橋哲学・社会思想学会, 2014.6, 一橋大学.
- * 井頭昌彦「プラグマティズム概論」, 一橋哲学・社会思想学会, 2014.6, 一橋大学.
- * 井頭昌彦「「痛みを感じられるロボット」はどうやればつくれるか?」, 日本社会心理学会第 54 回大会ワークショップ「構成論的人間理解論——ロボット工学・社会心理学・科学哲学——」, 2013.11, 沖縄国際大学.
- * 井頭昌彦「《可変性を伴う主観的リスク認知》としての安心感」, 日本ロボット学会・安心ロボティクス研究専門委員会(第 7 回), 2013.11, KEEPFRONT 会議室 A (沖縄県那覇市).
- * 井頭昌彦「第三アンチノミーに対する物語り論的アプローチと〈可能性〉の問題」, 第一回野家哲学研究会, 2013.3, ホテルニュー水戸屋.
- * 井頭昌彦「あるエスノメソドロジー研究についての論理分析」, 社会学研究会互助会, 2012.9, 成城大学.
- * 井頭昌彦「哲学的ロボティクスとロボット工学経由の哲学」, 第 12 回 K フォーラム(公益財団法人・栢森情報科学振興財団 主催), 2012.8, ホテルアソシア高山リゾート.
- * 井頭昌彦「コミュニケーションに『正しい日本語』は必要か?——分析哲学からみた『できる』とは——」, 2012 年度日本語教育学会春季大会・日本語教育学会創立 50 周年記念パネルセッション「『できる』とはどういうことなのか?——他領域との協働による課題解決にむけて」, 2012.5, 拓殖大学文京キャンパス. (招待講演)
- * 井頭昌彦「多元論的自然主義は怠惰な形而上学なのか?」, 第一回自然主義研究会, 2012.1, 東北大学文学部.
- * 井頭昌彦「ロボット工学に対して哲学は何ができるか(小山虎氏と共同発表)」, 応用哲学会 2011 年度臨時研究大会, 2011.9, 京都大学文学部.
- * 井頭昌彦「エスノメソドロジーと哲学の連携に向けて」, 社会学研究互助会, 2011.8, 成城大学.
- * 井頭昌彦「我々は「痛み」という語で何を意味しているか?」, 第 33 回疼痛学会・日本ペインクリニック学会第 45 回大会合同大会(愛媛ペイン 2011) サテライトシンポジウム「痛みのありか〜異分野から見た痛

みに関する考え方」, 2011.7, 愛媛県民文化会館. (招待講演)

- ・井頭昌彦『多元論的自然主義』のその後の展開」, 科学研究費基盤 B「哲学的思考と哲学教育」研究集会, 2011.3, 東北大学文学部.
- ・井頭昌彦「概念図式の多元性と架橋可能性」, 情報処理学会関西支部 社会知能研究会, 2011.3, 大阪大学中之島センター.
- ・井頭昌彦「痛みとは何か?——「痛みを感じられるロボット」の実現に向けて——」, 大阪大学 GCOE セミナー, 2011.3, 大阪大学大学院工学研究科.
- ・井頭昌彦「学際融合研究と哲学——ロボティクス・心理学・哲学の互惠関係——」, 認知脳 GCOE 若手ワークショップ「若手研究者が拓く学際融合研究の未来」, 2010.11, 大阪大学大学院工学研究科.
- ・Masahiko Igashira, “Cognitive Neuroscience Robotics and Philosophy”, The 2nd GCOE International Symposium—Center of Human-friendly Robotics Based on Cognitive Neuroscience —, 2010.3, 10F Hall of Osaka University Nakanoshima Center.
- ・Masahiko Igashira, “An Approach to Experimental Philosophy of Mind”, The 2nd GCOE International Symposium on “Weaving Science Web beyond Particle-Matter Hierarchy”, 2010.2, Main Lecture Hall of Faculty of Science / Tohoku University.
- ・井頭昌彦「物理主義の存在論的含意」, 北日本哲学研究会, 2009.1, 北海道大学大学院文学研究科.
- ・井頭昌彦「プラグマティック・コンヴェンショナリズムの擁護」, 哲学若手研究者フォーラム, 2006.7, 国立オリンピック記念青少年総合センター.
- ・井頭昌彦「〈最小限の自然主義〉と多元論的自然主義の可能性」, 日本哲学会, 2006.6, 東北大学大学院文学研究科.
- ・井頭昌彦「分析性は理解不可能な概念なのか?——記述か規範的提案か——」, 北日本哲学研究会, 2005.1, 北海道大学大学院文学研究科.

(b) 国内研究プロジェクト

- ・課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業, 「分野間比較を通じた質的研究アプローチの再検討」(研究代表者), 日本学術振興会, 2020.10.1-2023.3.31.
- ・科学研究費補助金・基盤 C, 「真理の多元論」と整合的な形而上学的立場についての研究」(研究代表者), 学術振興会, 2019.4.1-2024.3.31.
- ・科学研究費補助金・基盤 A, 「重層化する不確実性へのレジリエンス: 水産物サプライチェーン研究の課題と実践」(研究分担者), 学術振興会, 2019.4.1-2024.3.31.
- ・科学研究費補助金・基盤 (B), 「哲学的知識の本性と哲学方法論に関するメタ哲学研究」(研究分担者), 日本学術振興会, 2016.4.1-2021.3.31.
- ・科学研究費補助金・基盤 (C), 「隣接分野との比較照合を通じたメタ形而上学的構図の再編成」(研究代表者), 日本学術振興会, 2015.4.1-2019.3.31.
- ・科学研究費補助金・研究成果公開促進費, 「『多元論的自然主義の可能性』の翻訳・校閲・出版」(研究代表者), 独立行政法人日本学術振興会, 2014.4.1-2016.3.31.
- ・科学研究費補助金・若手 (B), 「メタ存在論における反実在論的アプローチの擁護可能性についての研究」(研究代表者), 独立行政法人日本学術振興会, 2012.4.1-2015.3.31.
- ・科学研究費補助金・若手 (B), 「規範や心を正当に扱うための多元論的自然主義モデルの構築」(研究代表者), 独立行政法人日本学術振興会, 2010.4.1-2012.3.31.
- ・日本科学哲学会・石本基金出版助成, 「著書『多元論的自然主義の可能性』の出版について」(研究代表者), 独立行政法人日本学術振興会, 2010.

- ・日本学術振興会・特別研究員奨励費(DC2), 「一元論的自然主義と多元論的自然主義の現代的意義と可能性についての研究」(研究代表者), 独立行政法人日本学術振興会, 2005.4.1-2007.3.31.

C. 受賞

- ・日本科学哲学会石本基金・第二回出版助成を取得(著書『多元論的自然主義の可能性』に対して), 日本科学哲学会, 2010.

7. 学外活動

(a) 他大学非常勤講師など

- ・京都大学文学部・大学院文学研究科
- ・大阪市立大学大学院理学研究科
- ・大阪大学人間科学部・大学院人間科学研究科
- ・東北大学文学部・大学院文学研究科

(b) 所属学会および学術活動

- ・日本哲学会(幹事 2015-2017 年度、編集委員 2016-2020 年度)
- ・日本科学哲学会(評議員 2019 年度-2020 年度、監事 2019-2020 年度)
- ・応用哲学会(理事 2014-2019 年度、監事 2020-2021 年度)
- ・東北哲学会
- ・一橋哲学・社会思想学会

(d) 高校生向け出張講義・模擬講義

サレジオ学院高等学校。出張講義。

8. 官公庁等各種審議会・委員会等における活動

- ・法務省、司法試験予備試験考査委員(2013-2014 年度)